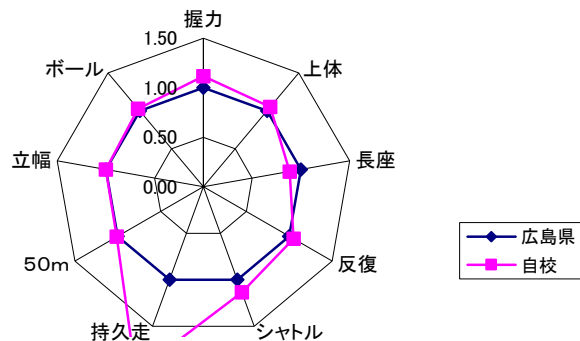


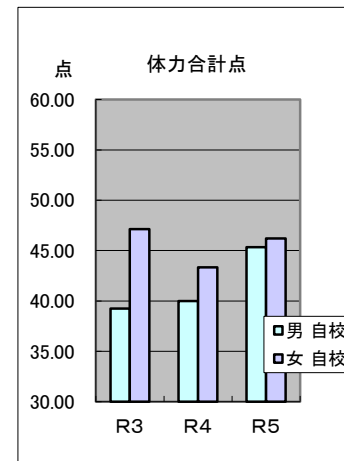
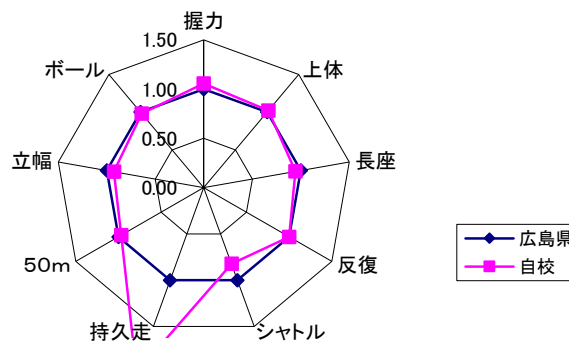
男子の体力合計点 学校 45.33点 県平均 42.28点

体力・運動能力調査比較(中2男子)



女子の体力合計点 学校 46.20点 県平均 48.60点

体力・運動能力調査比較(中2女子)



R5体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析

① 50m走(呉市の課題種目)

全学年男女とも全国平均を下回っている。2学年男子のみ、県平均を0.09秒上回った。ダッシュや全力疾走をする機会が少ないためと思われる。

②長座体前屈(中学校区の課題種目)

1学年は男女とも県平均・全国平均を上回っているが、他学年では1~5cm程度下回っている。柔軟性を高めるような動きを取り入れる必要がある。

③ハンドボール投げ(自校の課題種目)

2学年男子が県平均を0.02m上回ったが、それ以外は最大で約3m下回っている。ボールを投げる遊びや授業以外での運動経験や機会が少ないためと思われる。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目
(50m走)

具体的な取組内容

・体づくり運動やくれチャレンジマッチスタジアムへの取組を積極的に行う。
・毎学期記録を測定し、自己ベスト更新に挑戦させる。走る時の姿勢に気を付けさせる声かけと、ゴールラインの5m先にもコーンを置いたりラインを引いたりして、ゴールラインを走り抜けるようにさせる。

具体的な数値目標
(男子0.1秒, 女子0.2秒)

②中学校区の課題種目
(長座体前屈)

具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定)

・授業の中で柔軟性を高めるストレッチや体づくり運動を取り入れる。
・家庭でできるストレッチ運動を紹介したり、柔軟性についての必要性を授業の中で伝えたりしていく。
・一人ひとりに目標を設定させ、達成のための取組を促す。毎学期1回以上記録を測定し、全員目標達成をめざすよう声かけや指導を行う。

具体的な数値目標
(男子3cm, 女子3cm)

③自校の課題種目
(ハンドボール投げ)

具体的な取組内容

・体づくり運動やくれチャレンジマッチスタジアム(特にシャトルスローリレー)への取組を積極的に行う。
・毎学期1回以上記録を測定し、細かい目標設定をしながら、意欲をもって段階的に目標を達成していけるよう投げ方を見合ったり、助言しあったりする機会をつくる。

具体的な数値目標
(男子1m, 女子1.5m)

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)